ドライブ
ユーザ ガイド

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 取り付けられているドライブの確認

コンピュータに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

取り付けられているハードドライブが一覧に表示され、各ドライブの総容量と利用可能な空き容量も表示されます。また、リムーバブル ストレージ付きのデバイスも一覧に表示されます。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows®には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2　ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：**　コンピュータやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピュータをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

3 オプティカル ドライブの使用

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

[スタート]→**[コンピュータ]**の順に選択します。

オプティカル ディスク（CD および DVD）の使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクでは、情報を保存または転送したり、音楽や映画を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

以下の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル ディスクからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

オプティカル ドライブの種類	CD-ROM および DVD-ROM メディアからの読み取り	CD-R/RW メディアへの書き込み	DVD-ROM メディアへの書き込み（DVD+R DL、DVD+/-RW/R および DVD-RAM を含む）	LightScribe CD-ROM および DVD-ROM メディアへのラベルの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可
DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ	可	可	不可	不可
DVD+/-RW スーパーマルチ DL* LightScribe † ドライブ	可	可	可	可

*2 層記録対応（DL）ディスクは、単層ディスクより多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで書き込まれた 2 層記録対応ディスクは多くの単層 DVD ドライブおよびプレーヤに対応していない可能性があります。

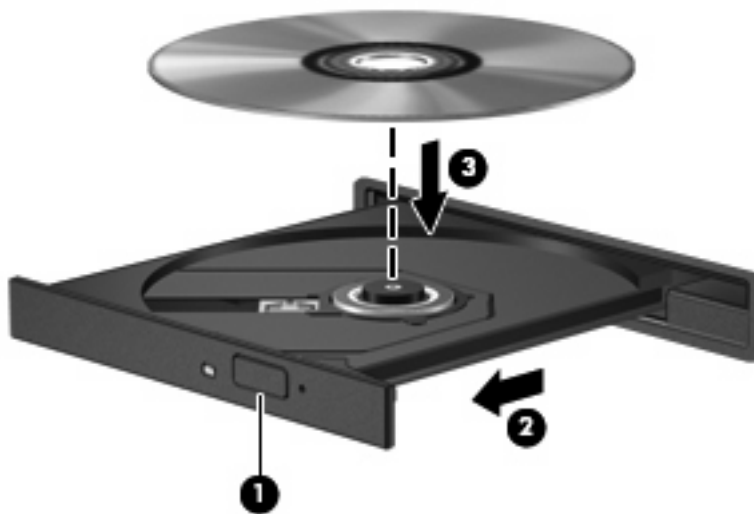
†LightScribe ディスクは別途購入する必要があります。LightScribe は白黒写真のようなグレースケールの画像を作成します。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが上記の一覧に記載されているわけではありません。

CD または DVD の再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開きます。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

> **注記：** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、次の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。コンピュータに Windows Vista® Ultimate または Windows Vista Home Premium がインストールされている場合、[Windows Media Player]か[WinDVD]のどちらかを使用して DVD メディアを再生できます。その他のすべての Windows Vista 製品では、[WinDVD]を選択して DVD メディアを再生します。

自動再生の設定

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[既定を選択する]**をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類に対し使用可能なオプションのどれかを選択します。

   注記： コンピュータに Windows Vista Ultimate または Windows Vista Home Premium がインストールされている場合、[Windows Media Player]か[WinDVD]のどちらかを使用して DVD メディアを再生できます。その他のすべての Windows Vista 製品では、[WinDVD]を選択して DVD メディアを再生します。

4. **[保存]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権で保護された素材を不正にコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ 注意： 情報の消失やディスクの破損を防ぐため、以下の指示に従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。バッテリ電源で動作しているコンピュータでディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

ソース ディスクまたはネットワーク ドライブからコピー先ディスクに直接コピーしないでください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はディスクに収録されていたり、ソフトウェアのヘルプに含まれていたり、製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

CD または DVD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio]**（ロキシオ）**→[Creator Business]**（クリエイタ ビジネス）の順に選択します。
2. 右側のパネルで、**[ディスクのコピー]**をクリックします。
3. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
4. 画面右下の**[コピー]**をクリックします。

コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダにコピーされます。

5. 指示が表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、作成したディスクは自動的に取り出されます。

CD および DVD の作成または「書き込み」

お使いのコンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[MyDVD]を使用します。

CD または DVD を書き込むときには、以下のガイドラインに従ってください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、すべてのプログラムを終了してください。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

注記： [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- 家庭のステレオやカー ステレオの一部には CD-RW を再生しないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムに採用されている DVD プレーヤは、一部の DVD フォーマットに対応していません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイルの形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクの作成プロセスは、データ ファイルの作成プロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD を書き込むには、以下の手順で操作します。

1. 書き込み元のファイルをハードドライブ上のフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]→[エクスプローラ]**の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムで指示されているとおりに書き込み処理を開始します。

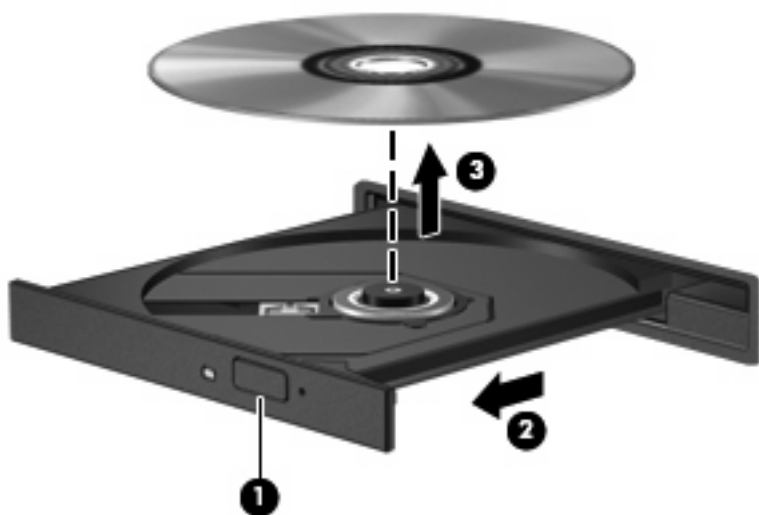
固有の説明について詳しくは、ソフトウェアのヘルプか説明書等を参照してください。

CD または DVD の取り出し

ディスク トレイが正しく開くかどうかに応じて、ディスクを取り出す方法は 2 通りあります。

ディスク トレイが開く場合

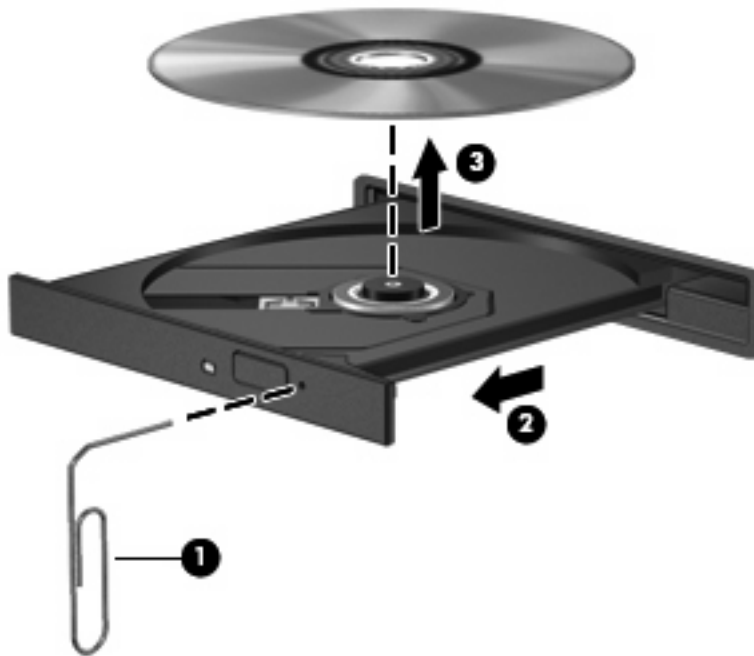
1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスク トレイが開かない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。

3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (**3**)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

再生時の破損からの保護

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じてください。
- CD または DVD を再生する前にインターネットからログオフしてください。
- ディスクを適切に挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認してください。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がないことを確認します。傷がある場合は、多くの電気店で入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで手入れしてください。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にはハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始する場合、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると次のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。まれに、プログラムを終了してから再起動しなければならない場合があります。
- システムのリソースを増やすには、以下の操作を行います。

  プリンタやスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。

  デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

  - アイコンではなくデスクトップ上の任意の場所を右クリックし、**[個人設定]**→**[画面の設定]**の順に選択します。
  - **[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどの DVD には、地域コードも含まれています。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

DVD の地域コードが、お使いの DVD ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれている DVD を再生できます。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コンピュータ]→[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブをクリックし、設定を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

4 外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。USB ドライブを追加するには、コンピュータの USB コネクタに接続します。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプタを装備したハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+RW および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ

注記： 必要なソフトウェアやドライバ、および使用するコンピュータのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

注意： 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピュータに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを接地した外部電源のコンセントに差し込みます。

別電源が必要なドライブを取り外すときは、コンピュータからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

5 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグをいったん開始すると、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで 1 時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピュータにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも 1 か月に 1 度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは 1 か月に 1 度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピュータのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows®には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

6 [HP 3D DriveGuard]の使用

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することによって、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

注記： オプションのドッキング デバイス内に装着されているハードドライブや USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピュータのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ディスク ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかを確認するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[モバイル コンピュータ]**→**[Windows モビリティ センター]**の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

注記： [Windows モビリティセンター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[HP 3D DriveGuard]**の順に選択します。
2. **[システム トレイ上のアイコン]**の行で、**[表示]**をクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。

[HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、コンピュータは次の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

  注記： [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合でも、コンピュータがバッテリ電源で動作しているときに完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションを開始できるようになります。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリ アラームを有効にできない

コンピュータを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアを使用することで、以下のことが行えます。

- [HP 3D DriveGuard]の有効/無効を設定する。

注記： ユーザの権限によっては、[HP 3D DriveGuard]の有効/無効を切り替えられない場合があります。なお、Administrator グループのメンバは Administrator 以外のユーザの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP 3D DriveGuard]ウィンドウを開きます。

   または

   [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

7　ハードドライブの交換

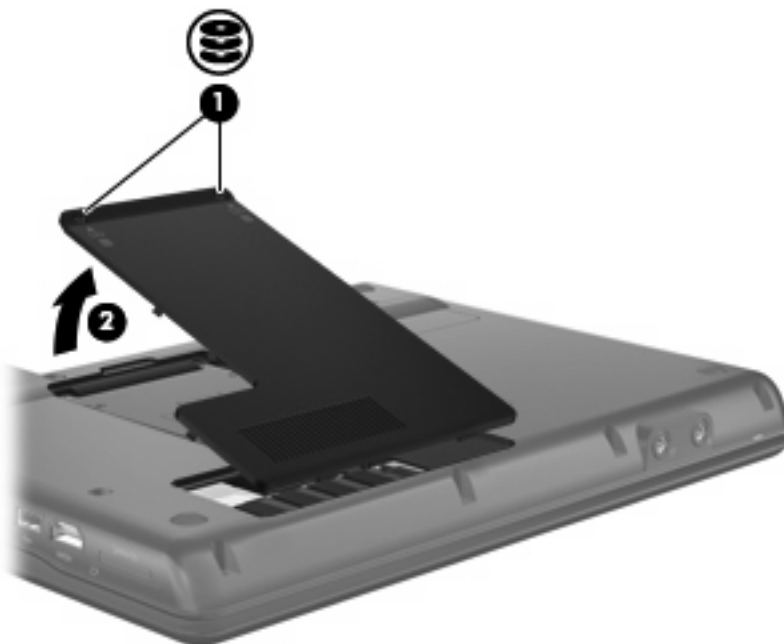
△ **注意：**　データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の注意を守ってください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーションのときには、ハードドライブを取り外さないでください。

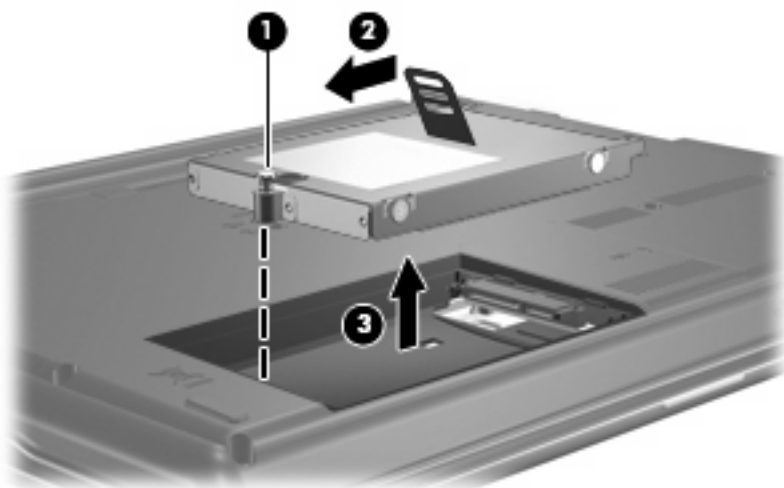
コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピュータから電源コードを抜きます。
5. コンピュータのハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリを取り外します。
7. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

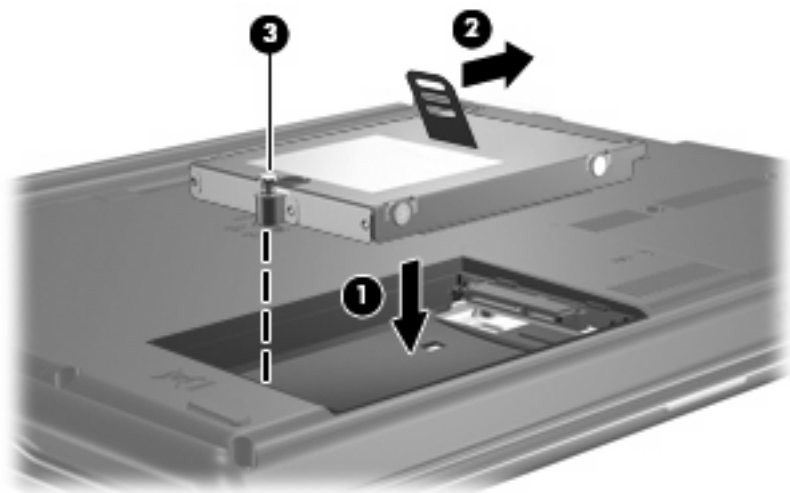
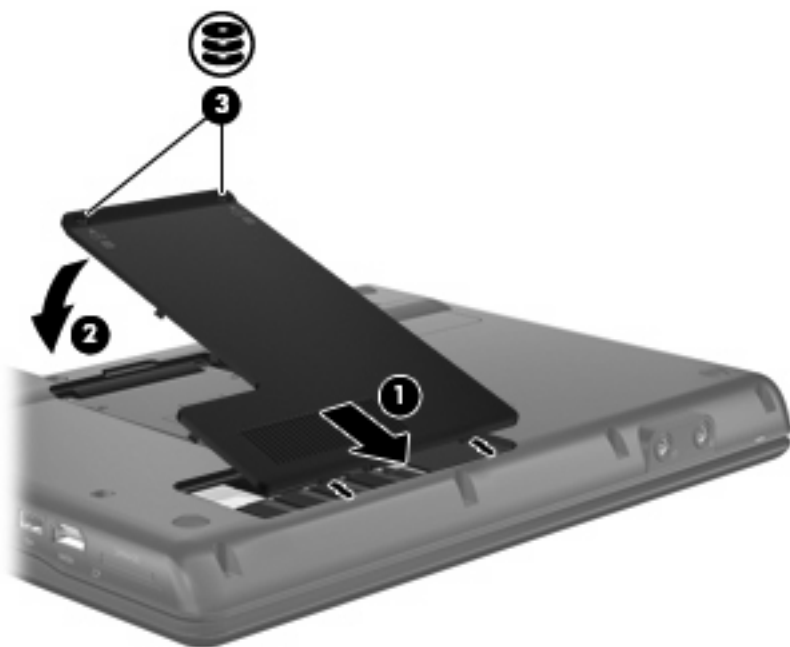
8. ハードドライブ カバーを取り外します（**2**）。

9. ハードドライブのネジ（**1**）を緩めます。

10. ハードドライブ タブを左方向に引いて（**2**）、ハードドライブの固定を解除します。

11. ハードドライブを持ち上げて（**3**）、ハードドライブ ベイから取り外します。

ハードドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**1**）。

2. カチッと音がするまでハードドライブ タブを右方向に引いて（**2**）、ハードドライブを所定の位置に固定します。

3. ハードドライブのネジ（**3**）を締めます。

4. ハードドライブカバーのタブを、コンピュータのくぼみに合わせます（**1**）。
5. カバーを閉じます（**2**）。
6. ハードドライブ カバーのネジ（**3**）を締めます。

8　トラブルシューティング

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスの問題を解決し、デバイス ドライバを更新するか、アンインストールするか、無効にします。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[デバイス マネージャ]**の順に選択します。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
3. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
4. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバを更新する。
   - デバイスを無効にする。
   - ハードウェアの変更をスキャンする。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、すべてのハードウェアに対して必要なドライバをインストールします。
   - **[プロパティ]**をクリックして、デバイスが正しく動作しているかどうかを確認する。その後、状況に応じて以下の操作を行います。
     - 問題を解決するには**[トラブルシューティング]**をクリックします。
     - デバイスのドライバの更新、ロールバック、無効化、またはアンインストールを行うには、**[ドライバ]**タブをクリックします。

新しいデバイス ドライバが必要な場合

Microsoft デバイス ドライバの入手

お使いのコンピュータは、新しいデバイスが接続された時に Microsoft デバイス ドライバを自動的にチェックしてインストールするよう設定されています。

HP デバイス ドライバの入手

最新の HP デバイス ドライバを入手するには、以下のどちらかの手順で操作します。

[HP Update]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして、HP ソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開いて、http://www.hp.com/support にアクセスします。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバ＆ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]ボックスに入力します。
4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

オプティカル ディスクが自動的に再生しない場合

1. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「自動再生」と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。

2. 検索結果の枠内で、**[自動再生]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。

3. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックを入れ、**[保存]**をクリックします。

   これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

コンピュータにプリインストールされている[WinDVD]を使用して、DVD を再生してください。

索引